

オンライン版

近代法の源流と発展を探究する MOML シリーズ

MOML7 を補完する世界各地の法令 約 2,700 点



米国以外の各国法令データベース

The Making of Modern Law: Foreign Primary Sources, Part II 1600-1970 (MOML 8)



The Making of Modern Law: Foreign Primary Sources, Part I: 1600-1970 (MOML7) に続いて、南ヨーロッパから中南米、オセアニア、インド、エジプトまで、約 30 か国の法典、法典編纂関係資料、法典制定後に刊行されたコンメンタール、制定法令集など、各国の法形成に大きく貢献した法資料を包括的に収録します。MOML 7 と MOML 8 を合わせることで、世界約 40 ヶ国の法制史のアーカイブとしてのみならず、比較法研究の進展にも寄与することが期待されます。

【データベース仕様】 収録タイトル数: 約 2,700 点 収録年: c. 1600 年代～1970 年

原本所蔵機関: イェール大学法律図書館、ジョージ・ワシントン大学法律図書館、ハーバード大学ロースクール図書館

■収録法域: アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、ボリヴィア、ブラジル、カナダ、チリ、コロンビア、コスタリカ、キューバ、ドミニカ共和国、エクアドル、エジプト、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、インド、イタリア、ジャマイカ、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ペルー、ポルトガル、スペイン、ウルグアイ、ベネズエラ

■対象法: 民法、商法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法、慣習法、海事法、軍事法、カノン法、ローマ法

—アメリカ以外の国々の法典や法典編纂関係資料、法典注釈書、制定法集等の一次法源約 4,700 冊を収録—
The Making of Modern Law: Foreign Primary Sources, 1600-1970 は、2つのパートから構成されます:

■ The Making of Modern Law: Foreign Primary Sources, Part I: 1600-1970 (MOML 7)

■ The Making of Modern Law: Foreign Primary Sources, Part II: 1600-1970 (MOML 8)

The Making of Modern Law: Foreign Primary Sources, Part II 1600-1970 (MOML 8)

価格表 ご契約方法: [データベース購入型] コンテンツ料(導入時のみ)+アクセスフィー(毎年)

教員学生数	～5,000	5,001～15,000	15,001～30,000	30,001～
コンテンツ料	お問い合わせください			
アクセスフィー				

- 消費税に関しましては税制の改正に則った内容で対応させていただきます。掲載製品はリバースチャージ対象製品です。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。
- お見積りは、別途ご用命ください。 ●ご契約の際は、所属機関のIPアドレスが必要となります。 ●同時ユーザー数は無制限です。

The Making of Modern Law: Legal Treatises, 1800-1926 (MOML 1) ご導入済み機関向けの特別価格もございます。

G.C.18944



(Gale, Cengage Learning / 指定代理店)

次頁以降もご覧ください→

MARUZEN-YUSHODO

丸善雄松堂株式会社[学術情報ソリューション事業部 企画開発統括部]

e-mail: e-support@maruzen.co.jp

収録文献の例

■ローマ法

『ウルピアヌス法範単巻断片他』(1774)
 ヤコブス・ゴトフレードゥス『テオドシウス勅法彙纂注解』(全6巻、1665)
 『ディオニシウス・ゴトフレードゥス版ローマ法大全』(全5巻、1583)
 『ラ・ポルト版ローマ法大全』(全6巻、1604)
 『ポティエ版学説彙纂』(全5巻、1748-1752)
 ペトルス・プラケンティヌス『著作集』(全2巻、1536)
 アーゾ・ポルティウス『講義と註釈集』(1581)
 アックルシウス『注釈集』(全8巻、1565)
 キーヌス・デ・ピストイア『勅法彙纂と学説彙纂について』(全2巻、1547)
 アルベリクス・デ・ロサーテ『注解集』(全8巻、1585-1586)
 バルトルス・デ・サクソフェラート『著作集』(全12巻、1570-1571)
 パウルス・デ・カストゥロ『注解』(全11巻、1593-1596)
 アレクサンデル・タルタグヌス『注解・講義集』(全4巻、1567)
 フィリップス・デキウス『学説彙纂と勅法彙纂注解』(全3巻、1527)
 アンドレ・ティラコー『パリ高等法院における諸法』(全7巻、1588-1589)
 フランソワ・オトマン『新注解』(1564)
 クヤキウス『著作集』(1595)
 バルナベ・ブリノン『法律用語辞典』(全2巻、1743)
 ヨハネス・アルトゥジウス『法体系学3巻』(1616)
 アルノルドゥス・フィニウス『ユスティニアヌス帝法学提要注解』(1665)
 ヨハニス・フート『学説彙纂注解』(全2巻、1734)
 ジャン・ヴィンチェンツォ・グラヴィーナ『ローマ法の起源』(全2巻、1722)
 バインケルスフーク『全集』(全2巻、1761)

■カノン法

『ローマ教皇大勅書集成』(全18巻、1835-1856)
 『ローマ教皇大勅書集成』(全14巻、1735-1762)
 シャルトル司教イヴォ『教令集』(1499)
 『グラティアヌス教令集ーヨハネス・テウトニクス・バルトロメオ・ダ・ブレシア注釈』(1514)
 『ペナフォルチェのライムンドゥス版グレゴリウス9世教皇令集』(1514)
 『アンドレア・アルチャート版グレゴリウス9世教皇令集』(1605)
 『ボニファティウス8世 第六書、クレメンス集、ヨハネス22世追加教皇令集ーヨハネス・アンドレアエ、ゼンゼリヌス・デ・カッサニス注釈』(1601)
 グイレルムス・デュランティス『法廷鑑』(全4巻、1578)
 セグジオのヘンリクス『黄金の集成』(1568)
 ヨハネス・モナクス『第六書の黄金の注釈』(1535)
 バルドゥス・デ・ウバルディス『インノケンティウス4世教皇令集注解』(1570)
 アエギディウス・デ・ベレメラ『教皇令集講義』(全6巻、1548-1549)
 フランチェスコ・ザバレラ『教令集注解』(全5巻、1602)
 ヨハンネス・デ・イモラ『教皇令集第一書・第二書注

解』(1575)
 ニッコロ・テデスキ『教令集注解』(全4巻、1570-1571)
 フアン・デ・トルケマダ『教令集注解』(全5巻、1578)
 ジョヴァンニ・パオロ・ランセロットティ『カノン法大全 改訂』(1670)
 ユーグ・ドノー『全集』(全10巻、1762-1766)
 ヨハン・ゴットリープ・ハイネッキウス『全集』(全9巻、1766-1771)
 カール・ミルプト『教皇史資料集』(1895)
 ヘルマン・カントロヴィッツ『アルベルトゥス・ガンディヌスとスコラ学の刑法』(全2巻、1907)

■イタリア法

イタリア司法省『イタリア王国民法典編纂資料集』(1886-1899、全8巻)
 ルイジ・ボルサリ『イタリア民法典註釈』(全4巻、1871-1881)
 エミディオ・パシフィッチ=マッツォーニ『イタリア民法典註釈』(全16巻、1898-1906)
 フランチェスコ・リッチ『イタリア民事訴訟法典註釈』(全4巻、1905)
 フランチェスコ・カルネルutti『民事訴訟法典草案注釈書』(1926)
 王立法典改正委員会『民事訴訟法典草案注釈書』(1926)
 パスクァーレ・マンチーニ『民事訴訟法典註釈』(全7巻、1855-1863)
 『イタリア商法典』(仏訳)(1892)
 マテオ・ガルディ『イタリア王国商法典・理由書付』(全2巻、1882-1883)
 『イタリア王国商法典予備草案注釈書』(全3巻、1884)
 エンリコ・ベンサ『商法典註釈』(全9巻、1900-1924)
 アスカレリ・トゥッリオ他『商法典註釈』(全10巻、1922-1929)
 ブロスpero・アスコリ『商法典註釈』(全10巻、1922-1929)
 『ファシスト法令集 1922年-1928年』(全2巻)
 『ファシスト法令集 1929年-1934年』(全2巻)

■スペイン法

『民法典 公式版』(1888)
 アウグスト・コマス『スペイン民法典改正草案注釈書』(全6巻、1895-1902)
 マンレザ・イ・ナヴァロ『スペイン民法典註釈』(全10巻、1890-1905)
 『商法典 公式版』(1885)
 『商法典草案注釈書』(1881)
 マドリッド大学法学部『商法典並びに商事裁判所に関する報告書』(1882)
 『刑法典・刑事訴訟法典草案注釈書』(全3巻、1821)
 ヘロニモ・ビダ『刑法典草案注釈書』(1885)

■ポルトガル法

『1867年ポルトガル民法典 公式版』(1927)
 フェルナン・ルペルティエ『1867年ポルト



『スペイン商法典草案』
(1882)

ガル民法典』(仏訳、注釈付)(1894)
ホセ・ディアス・フェレイラ『注釈ポルトガル民法典』(全4巻、1894-1905)
『1886年刑法典 公式版』(1930)
ルイス・オソリオ『ポルトガル刑法典覚書』(全4巻、1923-1926)

■アルゼンチン法

ダルマシオ・ヴェレス＝サルスフィエルド『アルゼンチン共和国民法典 公式版』(1870)
ダルマシオ・ヴェレス＝サルスフィエルド『アルゼンチン共和国民法典草案注釈書』(全3巻、1866-1867)
ルイス・ビセンテ・ヴァレラ『アルゼンチン民法典コンドルダンシアとフンダメント』(全16巻、1873-1875)
ホセ・ミゲル・グアスタビーノ『アルゼンチン共和国民法典改正草案注釈書 公式刊行物』(1908)
マヌエル・ラファエル・ガルシア『アルゼンチン民法典草案注釈書に関する批判的検討』(1920)
『1862年のアルゼンチン国民の商法典』(1865)
『アルゼンチン商法典改正草案注釈書』(1873)
『1889年のアルゼンチン共和国商法典 公式版』(1889)
カルロス・テヘドール『アルゼンチン共和国刑法典草案注釈書』(全2巻、1866-1867)
立法改正委員会『アルゼンチン共和国刑法典草案注釈書』(1906)
ロドルフォ・モレノ『アルゼンチン共和国刑法典草案注釈書』(1916)
ロムロ・ナオン『民事・商事訴訟法典草案注釈書 公式刊行物』(1910)
ラモンメンデス『刑事訴訟法典草案注釈書 公式刊行物』(1913)

■ウルグアイ法

エドゥアルド・アセベド『ウルグアイ東方国民法典草案注釈書』(1852)
マヌエル・エレラ・イ・オベス『ウルグアイ東方国民法典』(1868)
『ウルグアイ東方共和国民法典 新版』(1914)
アルバロ・ムニョス『民法典注釈』(全4巻、1896-1906)
ホアキン・マルケス『ウルグアイ東方国商法典』(1866)
『ウルグアイ東方共和国商法典』(1886)

■チリ法

『チリ共和国民法典』(1856)
『チリ共和国民法典 政府公認版』(1858)
『チリ共和国商法典』(1866)
『チリ共和国刑法典』(1874)
法典改正委員会『民事訴訟法草案注釈書』(全4巻、1884)
ホセ・ベルナルド・リラ『刑事訴訟法典草案注釈書』(1888)
『チリ共和国刑事訴訟法典草案注釈書』(1891)
ロブスティアーノ・ベラ『チリ共和国刑事訴訟法典草案注釈書』(1894)
上下両院議員合同委員会『刑事訴訟法典草案注釈書』(1902)

■ベネズエラ法

『刑法典 公式版』(1912)

法典編纂委員会『刑法典草案注釈書』(1947)
法務省『刑法典理由書・草案注釈書』(1961)
フリアン・ビン『民法典草案注釈書』(1955)
ビクトル・サナビア『民事訴訟法典理由書・草案注釈書』(1856)

■コロンビア法

『1873年民法典』(1873)
『コロンビア合衆国刑法典』(1873)
『コロンビア共和国刑法典 公式版』(1906)
『コロンビア合衆国商法典』(1873)

■エクアドル法

『エクアドル共和国刑法典』(1837)
『エクアドル共和国刑法典・刑事訴訟法典』(1872)
『エクアドル共和国民法典』(1860)
『エクアドル共和国民事訴訟法典』(1869)

■ボリビア法

『1833年サンタクルス訴訟法典』(1833)
『1834年サンタクルス商法典』(1835)
『民法改正法 公式版』(1883)
オラシオ・サモラーノ『ボリビア民法典』(1876)
カルロス・カスティージョ『ボリビア刑法典』(1923)

■ペルー法

マヌエル・ロレンソ・デ・ビダウレ『刑法典草案注釈書』(1828)
刑法典編纂委員会『ペルー刑法典草案注釈書』(1859)
『ペルー刑法典 公式版』(1863)
フアン・アントニオ・リベイロ『ペルー刑法典改正草案注釈書』(1879)
ヴィクトル・マウトゥラ『刑法典改正 1916年草案注釈書』(全2巻、1918)
ヴィクトル・マウトゥラ『刑法典草案注釈書』(1919)
『刑事訴訟法典 公式版』(1862)
エミリオ・フォレロ『刑事訴訟法典草案注釈書』(1874)
『1847年ペルー共和国民法典草案注釈書』(1847)
『ペルー民法典』(1852)
『ペルー共和国民法典草案注釈書』(1890)
マヌエル・プロ・ポルトゥガル『民法典新草案注釈書に関する若干の注釈』(全2巻、1891-1892)
『ペルー民事訴訟法典』(1852)
『民事訴訟法典草案注釈書』(1909)
法典編纂委員会『民事訴訟法草案注釈書』(1949)
『ペルー共和国商法典』(1853)
『ペルー共和国商法典』(1875)
シモン・グレゴリオ・パレデス『訴訟法典草案注釈書』(1859)

■パラグアイ法

『パラグアイ共和国刑法典 公式版』(1880)
『パラグアイ共和国刑法典』(1892)
テオドシオ・ゴンサレス『刑法典改正草案理由書に関する若干の所見』(1896)
『パラグアイ共和国刑法典 公式版』(1910)
テオドシオ・ゴンサレス『新刑法典草案注釈書と理由書』(1910)
『パラグアイ共和国刑事訴訟法典』(1890)



『アルゼンチン商法典』(1865)

テオドシオ・ゴンサレス『刑事訴訟法典草案注釈書』(1905)
カルロス・センチュリオン『刑事訴訟法典草案注釈書』(1935)
『民事訴訟法典草案注釈書』(1906)
パラグアイ司法省『民事・商事・刑事訴訟法典』(全2巻、1921)
カルロス・イサシ『民事・商事訴訟法典草案注釈書』(1928)

■メキシコ法

バシリオ・ホセ・アリリヤガ『メキシコ共和国法律、デクレト、規則、通達集』(全17巻、1834-1850)
『メキシコ帝国民法典』(1866)
『メキシコ民法典』(1879)
フスト・シエラ『メキシコ民法典草案注釈書の検証』(1897)
『メキシコ商法典』(1854)
商法典編纂委員会『商法典草案注釈書』(1869)
マヌエル・インダ『商法典草案注釈書』(1870)
『メキシコ合衆国商法典 公式版』(1889)
マヌエル・ドゥブラン・イ・フェルナンデス・ベレーラ『民事・刑事訴訟法典草案注釈書』(全2巻、1873)
フスティーノ・フェルナンデス『連邦民事訴訟法典改正理由書』(1909)
『刑事訴訟法典草案注釈書』(1879)
『刑事訴訟法 法務大臣への理由書と改正草案注釈書』(1894)
『連邦刑事訴訟法典理由書 公式版』(1909)
『連邦刑事訴訟法草案注釈書』(1920)
刑法典改正委員会『刑法典改正草案注釈書と理由書』(全4巻、1912-1914)

■ニカラグア法

『ニカラグア共和国刑法典』(1891)
ラモン・ロメロ『ニカラグア共和国刑法典草案注釈書』(1925)

ドミニカ共和国法

『ドミニカ共和国刑法典 公式版』(1867)
刑法典編纂委員会『ドミニカ共和国刑法典 公式改訂版』(1908)
刑法典編纂委員会『ドミニカ共和国刑法典 公認版』(1926)
民法典編纂委員会『ドミニカ共和国民法典』(1884)
『ドミニカ共和国民事訴訟法典』(1885)
民事訴訟法典編纂委員会『ドミニカ共和国民事訴訟法典 公式改訂版』(1901)
『ドミニカ共和国刑事訴訟法典 公式改訂版』(1908)
商法典編纂委員会『ドミニカ共和国商法典 公式改訂版』(1901)
商法典編纂委員会『ドミニカ共和国商法典 公認版』(1924)

■ジャマイカ法

チャールズ・リプトン・カレン『ジャマイカ制定法集 改訂版』(全12巻、1874-1913)
ヘンリー・アイザック・ブラウン『ジャマイカ法律集』(全7巻、1938)
ジョゼフ・レスリー・カンドール『ジャマイカ法律集』(全

9巻、1953)

■キューバ法

スペイン外務省『スペイン領キューバ・プエルトリコ刑法典 公式版』(1879)
アレホ・ガルシア・モレノ『キューバ共和国刑法典』(1906)
アンヘル・ベタンクール・イ・ミランダ『刑法典』(1913)
フェルナンド・オルティス『キューバ刑法典草案注釈書』(1926)
モイセス・ビエイテス『刑法典草案注釈書』(1926)
アンヘル・ベタンクール・イ・ミランダ『キューバ共和国商法典』(1909)
アンヘル・ベタンクール・イ・ミランダ『民法典』(1910)
パブロ・バルベ・イ・ウゲット『キューバ法典』(1919)

■パナマ法

『民法典 バルセロナ公式版』(1917)
『商法典 バルセロナ公式版』(1917)
『刑法典 バルセロナ公式版』(1917)
『裁判法典 バルセロナ公式版』(1917)

■ブラジル法

アウグスト・テシェイラ・デ・フレイタス『民法典草案』(1876)
ジョアキム・フェリシオ・ドス・サントス『ブラジル共和国民法典草案注釈書』(1891)
アントニオ・コエリョ・ロドリゲス『民法典草案注釈書』(1893)
クロービス・ベヴィラックア『ブラジル合衆国民法典』(全6巻、1916-1919)
オルランド・ゴメス『民法典予備草案』(1963)
ネルソン・ウンガリア『刑法典予備草案』(1963)

■カナダ法

フレデリック・ムルロン『カナダ民法』(全8巻、1895-1916)

■オーストラリア法

『コモンウェルス規則集』(全50巻、1906-1928)

■ニュージーランド法

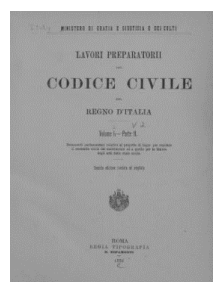
『ニュージーランド一般法律集 1908年-1931年』(全9巻、1932)
『ニュージーランド制定法集 1908年-1957年 復刻』(全12巻、1958-1961)

■インド法

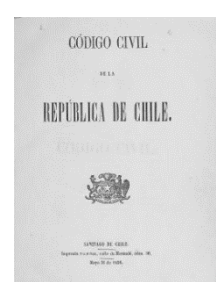
『インド関係イギリス議会制定法集』(全4巻、1935-1940)
『インド諸州イギリス制定法集』(全9巻、1920-1931)
『インド総督制定法集 1834年-1867年』(全5巻、1868)
『インド総督一般法律集』(全11巻、1938-1944)

■エジプト法

J=A・ワトレ他『エジプト常用法』(全2巻、1919-1920)



『イタリア民法典編纂資料集成』(1886-1899)



『チリ民法典』(1856)